

第65回大分県消費生活審議会の結果（概要）

1 開催日時

令和8年8月24日（月）13時30分から15時まで

2 開催会場

大分県消費生活・男女共同参画プラザ 2階 大会議室

3 出席者

（1）委員

学識経験者 青野 訓子 委員、亀井 正照 委員、吉良 重彦 委員、山城 興介 委員、
小野 里香 委員、松本 佳織 委員
消費者 雨宮 洋子 委員、小野 雄三 委員、村上 美佳子 委員、
古代 紘子 委員、牧 久美 委員、神田 英已 委員
事業者 大塚 浩 委員、衛藤 要一 委員、浦谷 まゆこ 委員、江原 加代子 委員、
木戸 寛之 委員
行政 三浦 公大 委員
（以上18名）

※欠席委員（2名）紀野 道子 委員、石本 理砂 委員

（2）事務局

生活環境部 部長 井下 秀子
県民生活・男女共同参画課 課長 岩下 賢一
〃（ほか事務局14名）

4 公開、非公開の別

公開

5 傍聴人数

0名

6 議事及び結果

（1）会長選出

山城委員を会長に選出

（2）議事録署名委員の選任

議事録署名委員に江原 加代子委員及び三浦 公大委員を指名した。

（3）報告

令和7年度消費生活相談の概要について
令和7年度「第4次大分県消費者基本計画」の取組実績について
令和8年度「第5次大分県消費者基本計画」について

（4）意見交換

令和8年度「第5次大分県消費者基本計画」について

【主な意見・提案等】

- ・ 市町村とアイネスの相談受付件数や分担率に偏りが見られる自治体があり、相談ノウハウ共有や「地元すぎると相談しにくい」といった課題もあるため、場所の共有や予算措置など、市町村の枠を超えた広域的な連携体制を検討してほしい。
- ・ 在宅の高齢者層において、夜間のテレビショッピングでの過剰購入や未払い、オレオレ詐欺等の被害が深刻化しており、被害未然防止のため地域が一体となって見守りや相談できる体制を構築することが最も重要であると感じている。
- ・ 電話での相談にハードルを感じる若年層の増加に対応するため、チャットやSNSなどの

相談受付や、アイネスからの折り返しなど、待ちの姿勢ではなく積極的に歩み寄る相談体制や専門相談員の配置を検討してほしい。

- ・ 市町村の分担率低下や新人の「一人窓口」の大きな負担を軽減するため、アイネスが「センターオブセンター」として助言やサポートを手厚く行い、相談員を育てながら分担率向上につなげてほしい。
- ・ 学校等への出前講座等は時代に合わせた内容への見直しや被害者教育だけでなく「加害者にならない教育」も必要であり、校長会での説明継続で学校側の理解を深めてほしい。
- ・ 「188」や消費生活センターの認知度が低い現状を踏まえ、高齢者へのネット周知には限界があるため、地域生協の訪問活動に加え、民生委員や自治会、福祉施設など身近な場を通じて周知徹底を図るべきであると考えている。

7 会議の資料名一覧

資 料 1 令和7年度消費生活相談の概要

資 料 2 第4次大分県消費者基本計画における指標及び目標値の実績

資 料 3 第5次大分県消費者基本計画 概要版・本編

資 料 4 第5次大分県消費者基本計画における指標及び目標値